

8月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

7月に入り、梅雨の時期を過ぎしながらも毎日のように30度を越える日が続き、特に晴れの日
の陽射しの強さは暑いを通り越して痛いと感じるほどです。異常気象とは、地球上で今まで経験し
た気温や気候から、かけ離れた気象のことを言うそうですが、毎年のように耳にするぐらい夏の暑
さに適応していくことの難しさを実感しています。

幼稚園では、この夏ならではの遊びとして、大きなプールを設置して水遊びを行っています。暑
いからこそ水の冷たさを感じ、水の中で体を動かすことをねらいとしています。もちろん冷たい水
の中は気持ちよく、子どもたちも日に日に水にも慣れてきて、水の中の動きもダイナミックになっ
てきました。朝登園してきた子どもたちが、挨拶をする前に「今日プール入る？」と聞いてくるぐ
らいプールに入ることを楽しみにしていることが伝わってきます。しかし、水遊びは楽しいだけ
ではありません。危険も伴うものです。この暑さからか、最近ニュースでも水辺の事故の報道を耳に
することが増えてきました。きっと泳法には自信があったとしても、海や川など自然の中では、予
測がつかないことが起こるということに気付かされます。今夏も海や川やプールで水遊びを楽しむ
機会も多いと思いますが、少しでも危険に対する意識をもっておくことが、自分の身を守るうえで
大切なことであることを覚えておいて欲しいです。以前、皆様に配布した「ウォーターセーフティ
ーハンドブック2024」も有効に活用していただければ幸いです。

幼保連携型認定こども園となった幼稚園では、1学期が終了しても「毎日幼稚園に来るお友だち」、
「ちょっとだけ幼稚園に来るお友だち」、「ずっとお家で過ごすお友だち」とそれぞれの場で過
すことになりますが、どんな場所であっても親や先生から指示や注意を受けて動くのではなく、自
分で先に考えて動いて欲しいと1学期の終業式では毎年子どもたちに伝えています。幼児の子ども
たちにとっては、なかなか難しいことですが、どんな時、どんな場面でも人に言われてではなく、
自分事として考えていく力をこの夏も身に付けて欲しいと願っています。

「言われてもやらない。言われなくてもやる。」今も印象に残っている職場の先輩からの言葉で
す。逆は「言われたらやる。言われなければやらない。」です。どちらも「やる」時と「やらない」
時がありますが、どちらが主体的でしょうか？保護者の皆様もついつい子どもたちの行動に口をは
さみたくなる場面が多いと思いますが、少しだけ「言われなくてもやる」ことを信じて待ってみて
はどうでしょうか？この夏、身体も心も平和な日々が過ごせますように。

【年主題】

「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」

(ヨハネによる福音書14章6節)

8月主題 「やってみる」

聖句 「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」

(マタイによる福音書7章12節)